

2 飢餓を
ゼロに



あけびの生殖生理と安定生産に関する研究

あけびは全国生産量こそ少ないものの、山形県がそのうちの9割を占める特産果樹の1つです。特産果樹の安定生産に向けた栽培技術の確立は、食料生産のみならず、文化の多様性を維持するためにも重要な課題です。

本研究ではあけびの省力的な安定生産をめざして、あけびの生殖生理の研究と人工受粉方法の確立を試みています。



人工受粉によって結実したアケビの果そうおよび人工受粉を行わなかった花そう痕（黄色の円）

特産果樹の安定生産に関する研究を通じて、「飢餓をゼロに」に貢献します。

【担当】

名前：松本大生

専門分野：果樹園芸学

連絡先：

daiki@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp